



かたぐい

学校教育目標

夢ふくらませ 心かがやく ～ えがお さいこう ～



校歌誕生物語 ～校歌はこのようなしてできた！～

今日は二十四節季の一つ『雨水』です。暦の上では「春が来て雪が雨へと変わり、雪も溶け始め水になっていく様子」を表し、春の訪れを感じる頃となります。しかし、またまた寒波襲来…。学校では、卒業式に向けての準備が着々と進んでいます。

さて、今回の学校報では、子どもたちには冬休み明け集会でお話した『校歌はこのようなしてできた』の内容を紹介します。4月に赴任した時にふと気になり、少しずつ調べていたことです。子どもたちには、冬休み明け集会で紹介しました。学校で最も大切な行事「卒業式」でももちろん歌います。全校みんなですばらしい卒業式にしようと呼びかけました。

校歌を作った人 作詞 大藏徳英 作曲 平岡均之 年表

年	大藏徳英 (おおくらとくえい)	平岡均之 (ひらおかきんし)
明治34年 (1901)		仙北市 神代に生まれる
明治38年 (1905)	西明寺小淵野に生まれる	※大藏とは4歳違いということ
大正7年 (1918)		両親を相次いで亡くす 17歳 その頃住んでいた場所は埼玉？
昭和3年 (1928)	西明寺小学校の教師になる 23歳	天皇陛下を祝う歌の作曲に応募して入選 全国的に有名になる 27歳
昭和4年 (1929)	詩華集『閃光』を数名の合著で出版 中央にも知られる存在となる 24歳	
昭和5年 (1930)	校長 大越利一郎に頼まれ校歌を作詞する 25歳 校長が できた詞を平岡均之に送り 作曲を依頼	依頼を受けて校歌を作曲 数日でできあがる 29歳
今から95年前の昭和5年 西明寺小学校の校歌ができる		
昭和6年 (1931)	病気のため 退職 26歳	
昭和9年 (1934)	29歳で亡くなる	
昭和17年 (1942)		『若葉』を作曲 文部省歌となる 41歳
昭和51年 (1976)		75歳で亡くなる

参考資料

昭和10年(1935) 創立60周年記念誌に校歌が掲載

昭和30年(1955) 創立80周年記念誌に「校歌はこうして生まれた」を元校長大越利一郎が記載
過去の「学校沿革誌」「卒業台帳」「修了台帳」等

※2人について詳しい方がいて、訂正等ありましたら学校までお知らせください。

校歌誕生から95年 卒業生は約6,000人 思いを込めて歌い続けましょう！

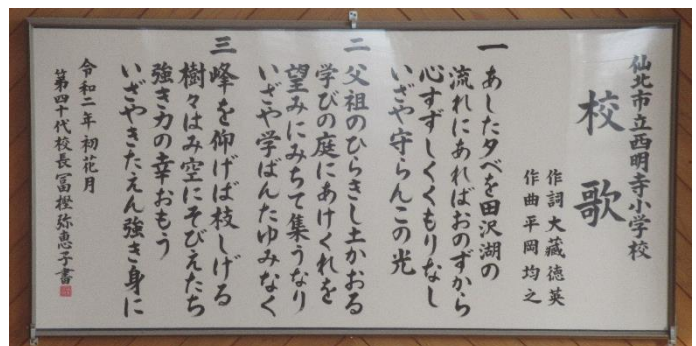
冬休み明け集会で子どもたちに話した概略

時は、昭和5年(1930)、今から95年前のことです。その頃、西明寺小学校に、大蔵徳英という先生がいました。大蔵先生は、その2年前に、西明寺小学校にきた先生でした。大蔵先生は詩人、詩を書く人で、当時、全国的にも活躍していて、前の年の昭和4年(1931)には、何人かの人と作品を合わせた詩華集「閃光」という本も出版していました。多くの学校では、まだ校歌というものがなかった時でしたが、当時の校長先生、大越利一郎先生が、大蔵徳英先生に「校歌の歌詞を作ってくれないか？」と頼んだところ、「やってみましょう！」ということになったそうです。それから何日か経ってできたのが、校歌の詞です。田沢湖が出てくるように、詞に盛られた自然と思想(思いや願い)がとても味わい深く、職員みんなで「いいぞ」と喜び合ったそうです。

さて次は、作曲です。誰がいいかと考え合ったところ、となり村(神代)出身の平岡均之先生がよいのではないということになったそうです。平岡先生は、当時、東京の方で中等学校の先生をしていて、その2年前に、天皇陛下のことを祝う歌の作曲に当選し、全国的にもその名が知られ、有名になり始めた頃だったそうです。お願いのお手紙を送ると、引き受けてくれるお手紙が戻ってきて、みんなで喜んだそうです。そして、あまり日が経たないうちに作曲した曲が送られてきたのだそうです。当時、西木村周辺の農村部は不況でお金にも余裕がなかったので、作曲してもらったお礼のお金ではなく、ありがとうというお礼の手紙だけだったそうです。もちろん、平岡先生からそのことで、催促とか怒りの様子もなかったそうです。

こうして、西明寺小学校の校歌は、昭和5年(1930)、今から95年前に完成したのです。大蔵先生は25歳、平岡先生は29歳でした。2人に面識(会ったこと)はなかったと思います。

大蔵徳英先生は、なんとその1年後に病気のため、退職し、4年後の昭和9年に亡くなっています。平岡均之先生は、その後も音楽の教師をしてたくさんの人を指導したり、多くの作曲をしたりしました。昭和17年(1942)には、「若葉」という曲が、文部省歌となり、音楽の教科書に載るようになり、平岡均之はますます有名になりました。平岡先生は昭和51年、75歳で亡くなっています。平岡先生の若葉の歌碑(歌の石碑)は全国のいろいろな場所にあります。仙北市にももちろんあって、神代中学校の校門の横にあります。



校歌が完成してから昨年まで、この西明寺小学校を巣立っていった卒業生は約6,000人です。6,000人もこの校歌を卒業式で歌って、未来へ羽ばたいていきました。そのような伝統や歴史を感じながら、この校歌を歌い続けていきたものです。今年の卒業式でも、すばらしい校歌になるように、全校みんなで心を込めて歌いたと思います。

くいっこたちの活躍紹介 がんばった！おめでとう！

○第20回仙北市民スキー大会 2月11日

大回転 小学4年男子の部 第2位 S.Hさん

○大台大回転(タミヤカップ)スキー大会 2月16日

小学校1年～3年 女子 第1位 S.Nさん

第4位 A.Sさん

大回転小学校4年 男子 第5位 T.Sさん

第6位 S.Hさん

